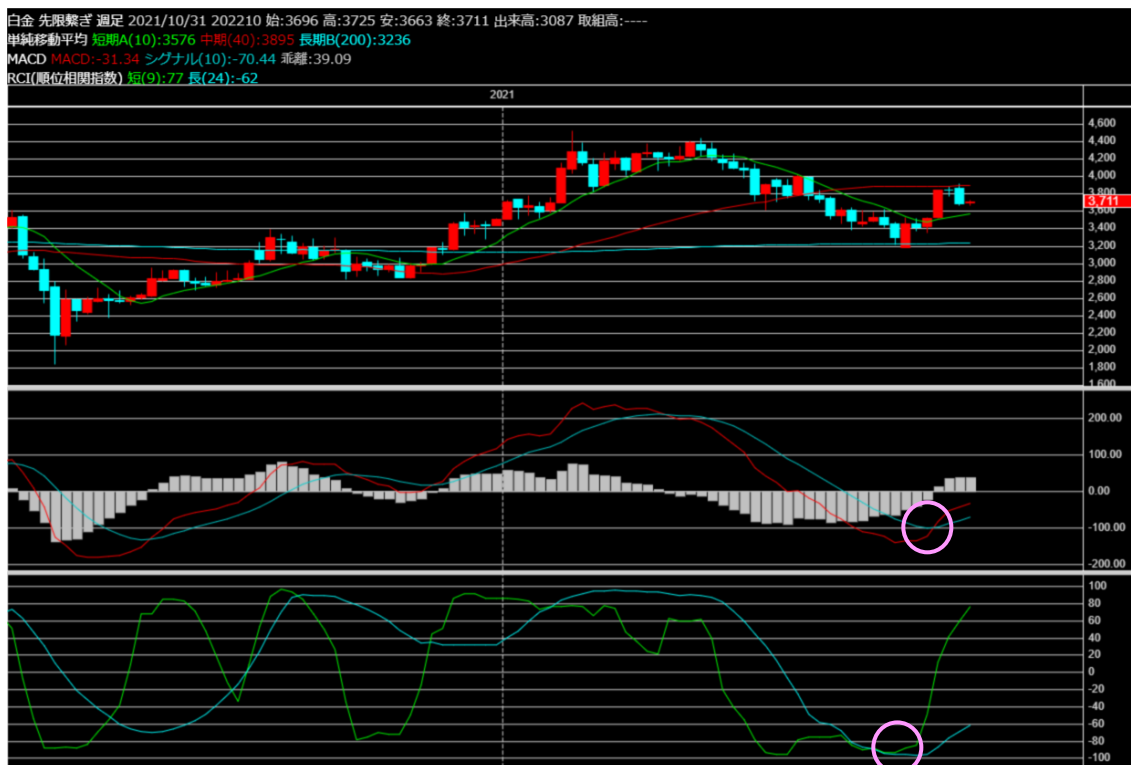


<白金標準先物、需給に立ち返り 3700 円～3600 円で底固め・・・>



(出所：オアシス)

イギリス・グラスゴーで第 26 回気候変動枠組条約締約国会議（COP26）が開催されている。この会議では温室効果ガス排出削減のさらなる強化に向け、各国が一致した姿勢を取れるかが焦点となり、議長国のイギリスが石炭火力発電の全廃を求めている。

COP26 は白金において自動車排ガス規制強化や燃料電池車の需要拡大などに結び付く要因だけに、需要を押し上げる材料として期待されているのではないかと予想される。

特に最近の下値追いは、新型コロナ・ウイルスの感染拡大に伴うサプライチェーンの混乱で半導体不足から自動車生産台数低下に結び付いた需要要因である事から、価格の反転に結び付く可能性は高い。また自動車部品における発注から納品までのリードタイムは落ち着きを取り戻しており、トヨタ自動車は 9 月の生産台数は 55%低下したが、11 月は 80 万台～90 万台へ改善すると予想するなど、年末に向けて需給は引き締まってくると予想される。

(2021 年 10 月 31 日記載)

<テクニカル>

白金標準先物の週足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では MACD がシグナルを上回りながら上昇しており、RCI でも短期が長期を上回り、短期と長期が上昇を示すなど、5 月からの下落基調は終了した事を示していると予想される。

<データ>

NYMEX 指定倉庫在庫（トロイオンス）：522962（前週比-6649）

世界プラチナ ETF 残高（トン）：72.48（前週比-0.21）

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 437,000 円(2021 年 11 月 1 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 33,000 円(2021 年 11 月 1 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>